

新生児のうち、出生時体重が1、500g未満の数

定義

自院における出生数です。死産は除きます。

算式

実数

当院の値(調査期間)

R1年度	10 件(年間)
H30年度	12 件(年間)
H29年度	9 件(年間)
H28年度	20 件(年間)

項目の解説

出生時体重が1、500g未満の新生児を極小低出生体重児と言います。このような新生児の治療には、高度な設備を持つ新生児特定集中治療室(NICU)において、経験のある医師・看護師が24時間体制で呼吸・循環などの全身管理を行う必要があります。極小低出生体重児の数は、高度な周産期医療を提供していることを示します。